

防火標語

ひとつずつ
いいね!で確認
火の用心



発行所
公益財団法人長野県消防協会
(長野県庁東庁舎内)

〒380-8570
長野市大字南長野字幅下692-2
TEL (026) 232-5319

編集発行人
宮下 和博



第1部優勝 諏訪市消防団



第2部優勝 安曇野市消防団



ラッパ吹奏の部優勝 上田市消防団



女性によるポンプ操法 上田市消防団女性消防隊ベナテス

第28回長野県消防ラッパ吹奏大会

第61回長野県消防ポンプ操法大会

優勝チームは

第1部 諏訪市消防団

第2部 安曇野市消防団

ラッパ 上田市消防団

長野県と公益財団法人長野県消防協会の共催による第61回長野県消防ポンプ操法大会・第28回長野県消防ラッパ吹奏大会を、台風一過の晴天の中、7月28日(日)飯田運動公園園営多目的グラウンド・綿半飯田野球場で行いました。

第1部12チーム96人、第2部13チーム91人、ラッパ吹奏13チーム278人、上田市消防団女性消防隊ベナテスによるポンプ操法7人、消防団ラッパ隊広域交流会参加者、大会関係者、観客と合わせ約3000人で盛大に開催しました。

結果は下記のとおり。

令和元年度 長野県消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会結果表

| 順位 | ポンプ第1部 | | ポンプ第2部 | | ラッパ | |
|-----|--------|------|--------|------|------|------|
| | 消防団名 | 消防団名 | 消防団名 | 消防団名 | 消防団名 | 消防団名 |
| 優勝 | 諏訪市 | 諏訪市 | 安曇野市 | 上田市 | 上田市 | 上田市 |
| 準優勝 | 川上村 | 下茅町 | 下茅町 | 飯田市 | 飯田市 | 飯田市 |
| 3位 | 信濃町 | 池田町 | 池田町 | 飯田市 | 飯田市 | 飯田市 |
| 4位 | 大町市 | 飯田市 | 飯田市 | 飯田市 | 飯田市 | 飯田市 |
| 5位 | 上田市 | 飯田市 | 飯田市 | 飯田市 | 飯田市 | 飯田市 |
| 6位 | 飯田市 | 飯田市 | 飯田市 | 飯田市 | 飯田市 | 飯田市 |
| 7位 | 佐久市 | 佐久市 | 佐久市 | 佐久市 | 佐久市 | 佐久市 |
| 8位 | 塩尻市 | 塩尻市 | 塩尻市 | 塩尻市 | 塩尻市 | 塩尻市 |
| 9位 | 伊那市 | 伊那市 | 伊那市 | 伊那市 | 伊那市 | 伊那市 |
| 10位 | 南木曾町 | 南木曾町 | 南木曾町 | 南木曾町 | 南木曾町 | 南木曾町 |
| 11位 | 坂城町 | 坂城町 | 坂城町 | 坂城町 | 坂城町 | 坂城町 |
| 12位 | 中野市 | 中野市 | 中野市 | 中野市 | 中野市 | 中野市 |
| 13位 | — | — | — | — | — | — |

個人賞

| ポンプ第1部 | | | ポンプ第2部 | |
|--------|------|------|--------|------|
| 番員 | 消防団名 | 氏名 | 消防団名 | 氏名 |
| 指揮者 | 諏訪市 | 関啓作 | 佐久市 | 井出祐也 |
| 1番員 | 諏訪市 | 藤森啓介 | 安曇野市 | 耳塚弘樹 |
| 2番員 | 上田市 | 宮澤直輝 | 下諏訪町 | 前田敏和 |
| 3番員 | 諏訪市 | 中田智好 | 南箕輪村 | 山崎大治 |
| 4番員 | 大町市 | 西山洋輔 | — | — |

優勝チーム紹介

思い続けた県制覇!!

諏訪市消防団 主将 藤森 正敏

早速ですが、長野県ポンプ操法大会 ポンプ車操法の部で優勝した選手の紹介をさせて頂きます。

- 主将 藤森 正敏 30歳
- 指揮者 関 晋作 28歳
- 1番員 藤森 啓介 31歳
- 2番員 伊藤 森太郎 30歳
- 3番員 中田 智好 31歳
- 4番員 金子 卓弥 38歳
- 補助員 飯野 勇希 25歳
- 補助員 笠原 彰人 30歳

僕達、第八分団が県大会に初めて出場したのは7年前です。

その時、私は補助番員でした。上田にて行われた県大会は2位という結果で終わってしまいました。

帰りの車の中で悔し涙を流し、帰ってきたことを今でも思い出します。

それから、しばらく諏訪市の

大会でも勝つことが出来ませんでした。

そんな中、地区大会で優勝した富士見町の消防団や諏訪市の第7分団が全国大会へ出場している姿を見て、悔しい気持ちと羨ましい気持ちでいっぱいになりました。

練習内容の試行錯誤を繰り返して、昨年に諏訪市の大会で優勝をすることが出来ました。県大会に出場してから6年かかりました。

ですが、諏訪地区の大会で4位と言う結果で負けてしまい、優勝した富士見町消防団が県大会も優勝し、全国大会へ出場していく姿を見ました。

本当に悔しい気持ちでいっぱいになりました。どこが悪かったのか、何が原因だったのかとことん話し合いました。

応援していただいた団員やサポートしてくれた団員、操法を教えて頂いた団員に来年こそは優勝する。そう僕は言いました。

そして年度が変わり、私は選手に「今年が平成が終わる。新しい時代が来るので今年が絶対に県大会を優勝して、新しい歴史を作ろう!」と言い続けてきました。

昨年の悔しい想いを糧に4月から早朝の練習を始めました。

選手は弱音を吐くこともなく、一生懸命にそして楽しんで毎日練習をしてくれました。

6月に行われた諏訪市の大会で優勝し、諏訪地区の大会も優勝することが出来ました。

目標まであと少しで届く...と言ったところで来ました。

そして迎えた県大会の日...選手は今年やってきた操法の中で一番素晴らしい1本を出してくれました。

今年度やってきたことの全てが出し切れたそんな操法でした。結果発表は心臓が出るんじゃないかと思う程ドキドキしました。

優勝 諏訪市消防団...と聞いた時は大変嬉しかったです。同時に嬉しくて涙が出ました。諸先輩方が流してきた悔し涙が種を育て、花が開いた瞬間でした。

ここまで多くの方のサポートや応援、そして家族や職場の方の支えがあり、ここまで来るこ



「新しい歴史に名を刻みました!!」

とが出来ました。大会当日まで、応援サポート本場にありがとうございました!

次は全国大会出場を目標に邁進して行きます!

県制覇を勝ち取った 有明の絆

安曇野市消防団第11分団長 横澤 貞雄

横澤 貞雄

私たち安曇野市消防団第11分団は、安曇野市穂高有明を管轄し、4カ部で構成されており、第11分団各部のポンプ操法への取り組み方や意気込みはそれぞれ特徴がありますが、各部真摯に向き合い、それぞれの特徴を生かしながら一所懸命活動してきました。近年は、団員の減少や考え方の変化から各部単位での練習や大会参加が困難な状況でした。新たな試みとして部の垣根を超え、第11分団として毎年大会参加を目指し、活動して参りました。

「家族、仕事がある中で活動している消防団でなぜ負担となるポンプ操法が必要か」という意見をよく耳にします。消防団の活動は、地域密着型であり、特に私たちの穂高有明地区は地域の皆様、家族のご理解、ご協力、また消防団の先輩方に支えられ、分団も積極的に地域に貢献し活動しております。「有事の

際、地域の皆様に頼られる分団でありたい。」この一心こそが第11分団の先輩方から引継がれてきた「絆」であります。各々が自分の都合や負担を訴えやすい時代にやりたくないことはやらない分団が地域の皆様に頼られるのでしょうか。ポンプ操法は、技術習得はもちろんですが、地域の皆様や家族、消防団の仲間との絆を創る良い機会とは捉えられないでしょうか。

本年度は、ポンプ操法の大切さを理解し、第11分団の絆を心に持った精鋭【主将：萩原茂裕、指揮者：秋山洋輝、1番員：耳塚弘樹、2番員：下川博通、3番員：櫻井澄雄、補助員：三澤静司】を揃え大会に臨みました。主将を中心に当初から県大会優勝を目標に掲げ、途中真剣だからこそこのぶつかり合いを乗り越え、大会ごと成長し、有言実行を果たしました。

県大会を終え、支えていた



「有明の絆」

いた皆様には感謝が尽きません。特に選手及びスタッフを支えていただいたご家族様や穂高有明地区の皆様には、感謝の念に堪えませんし、誇りに思います。今後も消防団活動だけではなく、ご家族様、地域の皆様とともに発展していけるよう精進いたします。

県大会までの道のり

上田市消防団 ラッパ長
三井 宏映

上田市消防団は、東御市消防団、長和町消防団、青木村消防団にて構成される上小消防協会に所属しています。

7月7日、東御市立東部中学校で開催された第42回上小消防ラッパ吹奏大会にて各団の日頃の訓練成果を出し合い、その結果として当団が優勝しました。また7月28日飯田市綿半飯田野球場で開催された第28回長野県消防ラッパ吹奏大会においても、優勝を収める事ができました。

上田市消防団ラッパ隊は29の分団に所属するラッパ担当団員、総勢283名にて構成され「消防ラッパの魅力 美しい音色を吹けるように」日々の訓練活動を行っております。

上小地区大会、県大会へ出場した選手は選考会を経て選ばれたメンバーで6月に行われた上田大会後より本格的に訓練を

開始いたしました。

今年は、昨年のメンバーを大幅に入れ替えたこともあってか、県大会までの5週間という短い期間で、吹奏、規律を合わせることは困難を極めました。しかし、徐々にメンバー一人ひとりの意識のベクトルが「県大会で絶対優勝する」という方向に向かい始めると吹奏また規律においても徐々にリンクされていきました。

県大会本番では出場順1番ということもあってか、開会式から休む間もなく出場したことが功を奏して緊張する間もなく臨めたこと、また最後まで「優勝する」という意識が保たれたことが結果へと結びついたのではなからうかと感じております。

長野県大会において優勝できたことを自信と誇りに、また今後の活動の糧としてまいりたいと思います。あわせて出場選手一同にとっては最高の成績と思いを得ることができました。



「心あわせて、気持ちあわせて」

第1回理事会

令和元年度第1回理事会を、5月24日(金)長野市のホテル犀北館で開催しました。

最初に、会長の解職の動議があり、採決の結果動議が可決されました。新会長には、南信ブロックの宮下副会長が新会長に選任されました。次に、平成30年度事業報告及び歳入歳出決算

について、清水監事から5月14日(火)に行われた監査結果の報告があり、いずれも原案どおり承認され評議員会に提案することが決定しました

その他、評議員会の日時および場所並びに議事に付すべき事項、業務執行理事の職務代行順、顧問の推薦について決定されました。報告事項に続き会議事項では、長野県と公益財団法人長

野県消防協会の共催による第61回長野県消防ポンプ操法大会・第28回長野県消防ラッパ吹奏大会を実施要綱により7月28日(日)飯田市で開催する原案が了承されました。また、長野県女性消防団員活性化大会(仮称)、第10回長野県消防団音楽隊交流演奏会を実施計画により開催することが了承されました。

定時評議員会

令和元年度定時評議員会を、6月11日(火)長野市のホテル犀北館で開催しました。

本年度第1回理事会において承認された平成30年度事業報告及び歳入歳出決算について湯本監事から監査結果が報告された後、歳入歳出決算について、原案どおり議決されました。

知事表彰

消防功労者知事表彰は次の11名が表彰されました。
松本市消防団副団長

大原 明

長野市消防団副団長

片桐 浩

中野市消防団副団長

神田 雄樹

長野市消防団副団長

児玉 孝史

松本市消防団副団長

小松 俊夫

元上松町消防団副団長

大道 俊昭

長野市消防団副団長

田中 博文

長野市消防団副団長

松木 道夫

元松本市消防団副団長

三村 隆彦

松本市消防団副団長

横内 千治

松本市消防団副団長

若林 一郎

消防関係者

春の叙勲

県内からは、次の方々を受章の栄に浴されました。
瑞宝単光章

元軽井沢消防団分団長

市村 正喜

元長野市消防団副団長

猪俣 正由

元大町市消防団副団長

大谷 幸久

元木曾福島町消防団副団長

春日 正志

元長野市消防団分団長

小林 哲夫

ラッパ講習会

ラッパ講習会を4月20日(土)に長野県消防学校で開催し、150名が参加しました。「規律の部、確認事項」について消防学校の岩淵准教授から、「指導者・チームリーダーに望まれること」について消防学校ラッパ科の田中講師から講義をいただきました。



消防団ラッパ隊 広域交流会

消防団ラッパ隊との交流を行い、消防ラッパ吹奏技術の更なる向上、消防団のイメージアップなどを目的とした「消防団ラッパ隊広域交流会」を県操法・ラッパ吹奏大会に併せて開催しました。



副団長講習会

消防団員や一般来場者が見守る中、伊那市消防団音楽隊、飯伊消防協会ラッパ隊がそれぞれ曲目を披露され、観客から大きな拍手が送られました。副団長講習会を6月8日(土)

中南信地区は上松町で46名、22日(土)東北信地区は長野県消防学校で32名、合わせて78名が参加し開催しました。午前中は、「長野県の消防防災行政」について長野県危機管理部消防課の佐藤主事から、「地域防災力充実強化」「訓練礼式」について消防学校の相馬准教授から講義をいただき、午後は、「現場指揮訓練」として、相馬准教授の指導のもと火災実験や、無線運用訓練を行いました。

長野県消防関係 殉職者慰霊祭

消防長会との共催による令和元年度長野県消防関係殉職者慰霊祭を9月6日(金)に長野市花岡平の「殉難消防組員の碑」前において、長野県知事(代理太田寛副知事)、県警本部長(代理大川雄一長野県警察本部警備部長)、自衛隊長野地方協力本部副本部長、陸上自衛隊松本駐屯地司令、消防長会正副会長、消防協会正副会長、福利厚生委員、57名の参列をいただき厳かに行いました。



第38回全国消防 殉職者慰霊祭

9月12日(木)に東京都虎ノ門の日本消防会館ニッショーホールで、安倍内閣総理大臣、高市総務大臣をはじめ、全国から遺族代表、消防関係者が参列して厳かに行われました。今年度は新たに、5柱が合祀され、その御霊は5762柱となりました。長野県からは、御遺族、県協会関係者など9名が参列しました。



第25回全国女性消防団員 活性化青森大会

9月19日(木)〜20日(金)、全国から女性消防団員など3700人が参加し、青森市の新青森県総合運動公園で開催されました。「女性消防団員新時代へ〜わどな(わたしとあなた)の出会い〜」を大会テーマとし、消防活動について情報交換と地域を越えた交流を活発に行いました。長野県からは66名(内女性消防団員32名)が参加しました。



県女性消防団員 活性化会議

今年度2回目の会議を9月30日(月)に県庁会議室で開催し、10月27日(日)に、初めて開催する県女性消防団員活性化大会の内容等について検討を行いました。



優勝チーム 知事表敬訪問

県大会優勝チームが10月2日(水)に知事を表敬訪問しました。第三応接室で阿部知事が出席し、第1部ポンプ車操法優勝の諏訪市消防団、第2部小型ポンプ操法優勝の安曇野市消防団、ラッパ吹奏優勝の上田市消防団から大会優勝報告と懇談が行われ、引き続き県庁北側の広場で、多くの県庁職員らが見学する中、上田市消防団によるラッパ吹奏が行われました。



第10回長野県消防団 音楽交流演奏会

10月6日(土)駒ヶ根市総合文化センターにおいて約600名

が参加し、開催しました。音楽隊交流演奏会では、16隊各4ブロック合同チームによる演奏が行われ、日ごろの訓練の成果を遺憾なく発揮し有意義な交流となりました。また、幅広く県民の皆様消防団を知っていたり、新たに、中野市消防団女性隊による寸劇、防災ネットワーク下諏訪シェイクアウトによる防災漫才等を行いました。



人事異動

- 消防協会 令和元年5月31日付
- 【退職】 事務局長 仙仁 健一
- 令和元年6月25日付
- 【採用】 事務局長 土屋 一郎